

本日の内容

1. 第2回選書図書に対する意見交換
2. 今後の図書推薦について
3. 図書館からのお知らせ

1. 第2回選書推薦図書一覧

No.	書名
6	生殖医療はヒトを幸せにするのか
7	社会疫学
8	産婦人科必修母体急変時の初期対応

No.	推薦理由
6	<p>京都大学といえばiPS細胞という認識があるためか、学外の友人や家族との話題の中に臨床を望む声・期待がでてくることもあります。しかし、これまでの大学3年間の学びで新しい技術を臨床に取り入れる場合にはたくさんの倫理面の課題がでてくることを知りました。そこで、現在実際に使われている生殖技術の問題を知ることは、これから出現する新技術の倫理面を考える際に参考になるのではないかと考えられたので、実際にも臨床で使われている生殖医療についての本を推薦させていただきました。また、この本は新書であるので軽く読むことができるため、学部生も軽く読めてよいのではないかと考えています。</p> <p>・話題を掘り下げ切れていない新書なので、図書の内容だけで書こうとすると難しいかもしれない。</p> <p>・「生殖医療」というテーマは、産まれてくる子どもの問題など、医学分野を超えて倫理的な面でも今まさに議論されており結論も出ていない。この本は自分自身や周りに問題提起するきっかけとして手にとってもらえよのではないかとと思う。</p> <p>・新書は、著者の他の本格的な著作や参考文献を使って、そのテーマをさらに掘り下げていきかけとして使える。この本を読んで生殖医療というテーマについて自分の中でどのような掘りかけがあったか？という方向性はどうか。</p>
7	<p>医療の世界で「イチロー」といえば、この人！イチローカワチ先生！そんな世界的に有名なイチロー先生がお書きになった、ハーバード公衆衛生大学院の指定テキストの1つ『Social Epidemiology 2nd Edition』の日本語訳がついに出版された。社会疫学という学問を構築したパイオニアたちがまとめた本テキストは、世界的にも認められている内容ですので、医学図書館に相応しいと思います。また現在、本書の原著も読み進めているので、原版と訳版との比較できる点があればレビューしたいと思っています。</p> <p>・社会疫学という分野は傍から見ていると敷居が高くて難しそうというイメージがある。 →ここで扱われている内容は実際には誰にとっても身近なもの。その辺りのギャップを埋められるとよいかもしれない。</p> <p>・原著と訳書を読み比べているとその違いについても言及したくなった。レビュー内で推薦した訳書のことだけでなく、原著のことにも触れていいと思う。 →全く問題ないと思う。ぜひそのようなレビューにしてほしい。</p>

No.	推薦理由
8	<p>急変発見から高次施設への搬送もしくは集中治療につながるまでの母体救命対応を学ぶためのテキストです。私は先日まで分娩介助実習だったのですが、出血が多く危険な状態となった方がいらっしゃいました。そのときは助産師さんの力もありなんとか対応ができたのですが、母体の状態が急変した際の対応をもっと学びたいと感じました。しかし、講義では正常なお産については詳しく扱いますが、もし母体に何か異常があったときにはどのように対応していくのかという内容は少なく、自分で学んでいく必要があります。このテキストは先生からもオススメしていただき、またシミュレーション型なので学びやすいのではないかと思います、推薦致しました。</p> <p>・シミュレーション型で絵や図が豊富なのが特徴。知識をつけるための教科書やテキストと比べて現場に近い内容という点が大きな特徴だと思う。</p> <p>・実習で色々な経験を得てからこの本を読み始めた。実習の時の経験も絡めてレビューを書きたいと思っている。</p> <p>・タイトルからするといかにも助産学の人ばかりが関心を持ちそうだが、救急が専門の人にとっても参考にしてもらえる内容だった。</p>

2. 今後の図書推薦について

- （図書館から）年度末までに各委員へあと1冊は推薦・レビューをお願いしたい

- ・選書タイトルについて

→委員が以前に送った「オススメ図書リスト」を使ったり、MLに相談という形で投げてもらえばよいと思う。ミーティングの場で紹介した図書館向け選書ツールについても、後日委員宛に図書館から紹介するので使ってみてもよい。

- ・スケジュールについて

→今後の自分のスケジュールと折り合う形で進めてもらえばよいが、すぐに取り掛かれるようであれば、今から選書・推薦してもらっても全く差し支えない。2月以降、授業や国家試験が終わって落ち着いた時期を一旦の目安としてはどうか。

3. 図書館からのお知らせ

- ・レビュー提出〆切について

→今回検討して3冊は、【2月15日（木）】までに初稿を提出するものとする。

※期限内提出が難しそうであれば個別に相談可

- ・第1回選書タイトル5冊を図書館で展示中